

戻りはしない。子供の頃加山雄三の「若大将シリーズ」を好きで見ていたが、星由里子の役柄は憧れでもなんでもない。ただの刺し身のつまだ。同じくション・コネリーの「007シリーズ」も好きだったが登場する美女などに何の興味も持てなかった。浜美恵もそこでは魅力がなかった。

一昨年の最新版で初めて対等に活躍するボンドガールが登場。喝采を送った。映画の出来は並でも私には感慨ひとしお。とても面白かった。なぜヒーロー・ヒロインが対等に登場する映画がないのか残念である。男がもっと政治に命を懸け命懸けで恋でもしなきゃ女の観客は納得しない。それにはもっと不況になって家族一丸となって生きるしかなくなつた時、やっと思のヒーロー・ヒロインの映画ができるのかもしれない。「新・頼れる男性」を女性も求めているのではないだろうか。

だが若貴問題で「兄弟仲良くしてほしい」などと発言するマスコミの若い女を見ると、運動会で1等・2等を無くした弊害が早や出て来ているようだ。土俵の厳しさなどまるでなく兄弟で横綱を張る大変さもない。大関の時と変わらないなら、若ノ花も横綱を受けるべきではない。神に近づく努力くらいせい！と言いたい。親方も相撲会全体の問題と考えてほしいと思う。親子間の問題という次元ではない。兄弟横綱というものがどういう意味をもっているか分からなかったのか。素人ではあるまいし。初めから対決する宿命があるのだ。「強い男」のヒーローが映画に登場しないはずである。今の日本人はおかしい。

兄弟仲良くという女の頭は自分が牛や魚を殺して食する肉食獣である事実を認識していない。己の姿に気づいていないのである。自分は平気で毎日残酷な行為をしているのに恰も天使であるかのように錯覚している。また別の番組で聞いたが眠快便は昔から健康のパロメーター、脳を刺激するためであろう「ウンチ」の書も別に不思議ではない。二人の対決を静かに待てばよい。

結婚に関しては前に書いたので、それ以上言うことはないが子育ての支援だけは是非社会全体の問題として速やかに実行してほしい。また渋谷区の特別養護老人ホームを見学したが、如何に死ぬべきか、を考えさせられた。養護老人ホームで死ぬことは現在は無理だが、部屋さえあれば可能になるとのこと。素晴らしい環境で4人部屋というのも考え抜かれている。個室では孤独に陥る老人が多いそうで、その

## 会報へ「投稿」下さい！

「会報」は、会員の皆さんの間を結ぶ情報ネットワークです。情報の一方通行ではなく、相互交流のための会員のメディアです。是非、多くの皆さんの投稿をお待ちしております。

「投稿」された原稿は、原則として「掲載」させていただきます。従って「会の理念や方針」と多少異なった「個人的意見」が、執筆者個人の責任で掲載されることがありますので、ご了承下さい。

## 【お詫ご】

生活者通信10月号におきまして、会費納入済みにも拘わらず、会費納入のお願いの通信が送付された会員もおられたかと存じますが、名簿担当（澤井）の帳簿の更新ミスによるものです（臨時に担当したためにミスが起きました）。現在は正常に更新されております。大変、不愉快な思いをさせてしまい

点4人なら職員に異変を知らせることも出来気も紛れる。ベットも病院のようにカーテンで仕切ることが出来、オムツ交換の際にはプライバシーが保てるようになっている。ただ素晴らしいだけに施設が足りず2年も3年も待たされるのが問題だ。私立の施設では1千万から1億円もする。金の無い人間には縁のない話である。

見学する前はこういう施設が痴呆老人と身障者以外入れないことを知らなかった。死ぬような病気になったら老人ホームと同じで病院に入れられてしまう。私にとって必要なのはホスピスのほうではないかと思う。不治の病となれば痛み止め以外余計な治療はしてほしくないし、死の直前には家族と一緒に寝泊まりしてほしい。家で死ぬのが一番だがその時の家族状況もあるので分からない。天涯孤独となれば誰かに看取ってもらわねばならない。最期まで人間としての尊厳だけは失わずに全うしたいと思う。それが叶わぬ時は舌でも噛み切るか。尊厳死を尊重したい。

今度引越すことになった。港区港南4丁目、近くに都営住宅も沢山あるがなにせ店屋がない。品川駅周辺と天王洲アイルの周辺は開発地域だが、住宅地に必要な店屋は全くない。今また遷都とか言って検討しているが、東京をもっとどうにかしてもらいたい。

ウォーターフロント開発のやり残し、千代田・中央の過疎化、このままでは困る。地震が怖いと言うが、日本中安全な所などない。政経分離も地方主権で実現する。霞ヶ関の権限をどんどん地方に移せばいいではないか。遷都と言って東京をもうひとつ作ってどうするのだ。地方主権なしにやれば巨大化していくのみ。平成維新の会員なら反対すべきである。現状でそんな予算は到底ないと思う。

マンションだが今度の家では和室を活かしてお茶事ができるようにする積もりだ。ベランダに庭も作る。読書室も作る。そのかわり誰の部屋というのは無しにした。自然と一体になっての暮らしがしたい。ベランダにハンモックやテーブルを置けば別荘気分。ただし予算との関係があるので夢に終わるかもしれません。

この2年間を振り返ってつらつら思うことをまとめさせて頂きました。まだまだ考えなければならぬ事が多くありますが、21世紀の日本人として自信を持って生きていきたいと思ひます。ご精読ありがとうございました。

## 「会名変更」の意見を！

全号に続き「会名変更」に関する「意見」が寄せられております。これらの意見に対する賛成・反対・追補、また新たな意見もあるかと思ひます。

「会名変更」は多くの皆さんの一大関心事だと思ひます。この件は年内に結論を出すことになっております。従って、更に多くの方々のご意見を掲載し、意見交換をしたいと思ひております。多くの皆さんの「投稿」をお待ちします。

10月の名簿担当：澤井正治  
ましたことを深くお詫び致します。なお、納入されました会費について、二重の支払になった方につきましては会員期限の延長で対応させていただきます。深くお詫びすると共に再発防止に最大の努力を致しますので、どうかご寛容の心をもってお許し願ひたいと存じます。